

ふくしまの森林文化調査カード

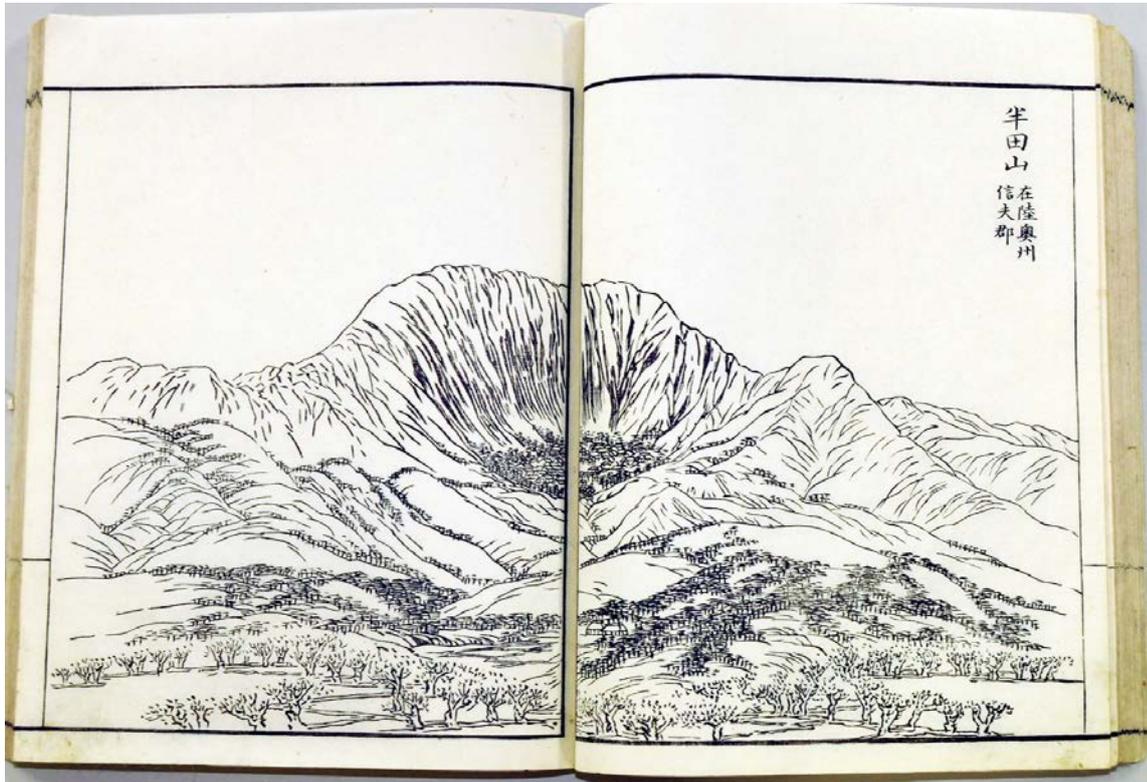
No.32

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 図譜	(ふりがな) ずふ	
地域独特の呼び方	—		—
タイトル	名山図譜 個人蔵		
伝承地域	—		
由来(年代)	画は松平定信ゆかりの谷文晁の作品で、陸奥南部の医者川村元善(号錦城)の編で1804(文化元)年に刊行された。		
内容	山を中心に据え、その裾野に植物・湖沼・河川・旅人・民家などをバランスよく配し、遠近法で写実的に描き出している。半田山(伊達郡桑折町北半田)は18世紀から幕府直営の银山としても知られ、佐渡金山奉行の管理下に置かれていた。山容は扇形で遮るようにそそり立って描かれ、中腹の窪地には银山で働く人々の家がひしめきあっている様子がわかる。また、麓には桑畑が広がっており、松井寿鶴斎の「東国旅行談」に記されているように信達地域が日本有数の養蚕地帯であったことを如実に物語っている。なお、その所在地を信夫郡と記載しているが、伊達郡の誤りであると考えられる。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	市内バス:福島駅東口~市内循環バス~「文化センター入口」下車 徒歩5分		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	福島県歴史資料館(Tel:024-534-9193)		

【フリーフォーマット】

キーワード



名山図譜 個人蔵